

熊本市都心「サクラマチ クマモト(大型複合施設)」オープン記念事業—

公共交通無料化実験の成功要因と評価—最先端の公共交通政策

～九州産交バス「熊本県内バス・電車無料の日(2019.9.14)」実施—利用者25万人(2.5倍)、経済効果5億円等の成果と近未来像～

- 産・官・学による熊本市版公共交通再デザイン戦略と「くまもとMaaS」への道
- 「熊本県内バス・電車無料の日」実施のねらい、方法、組織、費用とその成果
- ビックデータ、交通データ、オープンデータ分析にみる実験の成果、効果、評価
- 公共交通利用者、来街者回遊の開発効果を交通まちづくりへどう生かすか

>>> 講師陣

- 溝上 章志** 氏/熊本大学大学院先端科学研究部教授
サクラマチデータプロジェクト構成員
- 太田 恒平** 氏/(株)トラフィックブレイン代表取締役社長
サクラマチデータプロジェクト構成員
- 今釜 卓哉** 氏/九州産交バス(株)
熊本のバス交通あり方検討会担当係長
- 大屋 誠** 氏/ヤフー(株)データ統括本部事業開発本部
データコラボレーション戦略室リーダー

「熊本県内バス・電車無料の日」実験の検証シンポジウム開催について

2019.9.14(土)、九州産交グループは熊本市都心の新しい複合施設・バスターミナル「サクラマチ クマモト」のオープンに合わせ、熊本県内のバス・電車4,000便以上(JR等を除く)を無料化した(費用は九州産交グループが負担)。データを分析したところ、バス・電車の利用者は前週(9/7土)の2.5倍の約25万人、都心部への来街者は1.5倍、道路最大渋滞長は59%減少、経済効果は約5億円。そこで、サクラマチデータプロジェクトの協力を得て、熊本の実験成果を今後の都市と交通の再生政策に生かすべく、本シンポジウムを開催します。多くの自治体、交通事業者、コンサルタント等の参画によって、未来を志向するシンポジウムとなることを期待しています。

< 地域科学研究会 >

>>> 日時・会場

2020年3月30日(月) 10:30～16:35 厚生会館・会議室(東京・千代田区)

時	講 義 内 容
10:30 ～ 11:30	1. [基調講演]熊本市の公共交通の再デザイン ～産・官・学で進める最先端の公共交通政策に対する学からの連携～ 熊本大学大学院先端科学研究部教授 溝上 章志 氏 1. 熊本市圏における公共交通の現況と課題 2. 熊本市公共交通協議会による公共交通再デザイン 3. 熊本市公共交通基本条例の策定 4. 事業者が自主運行する路線網と事業者が運行できない地域への コミュニティサービスへの対応 5. 持続可能な地域公共交通サービスのための組織と運営 6. くまもとMaaSへの道
11:40 ～ 12:20	2. [報告] 「熊本県内バス・電車無料の日」実験の検証 (1) 全国と熊本で進むバスデータ活用の最新情報 ～オープンデータとダイヤ改善を中心に～ (株)トラフィックブレイン代表取締役社長 太田 恒平 氏 1. バス情報の標準化とオープンデータ 2. データでバスの遅れを改善 3. 様々なデータで考える交通改善
13:20 ～ 14:00	(2) 「サクラマチ再開発」と「バス電車無料の日」で熊本が変わる ～再開発による中心市街地活性化、サクラマチデータプロジェクトでの連携～ 九州産交バス(株) 熊本のバス交通あり方検討会担当係長 今釜 卓哉 氏 1. サクラマチ再開発(大型複合施設&バスターミナル)による中心市街地活性化 2. サクラマチOPENとバス電車無料の日実施による、もたらした多面的な効果 3. 今後の展開
14:10 ～ 14:50	(3) まちづくりにおける位置情報と検索情報の活用事例 ヤフー(株)データ統括本部事業開発本部 データコラボレーション戦略室リーダー 大屋 誠 氏 1. ヤフーのデータソリューションの紹介 2. 位置情報の活用事例 3. 検索情報の活用事例 4. 今後の展望について
3. [パネル討論<質疑応答・意見交流>] 公共交通と街の再生戦略—行政・事業者・地域への期待	
15:05 ～ 16:35	[司 会] 溝上 章志 氏 (熊本大学大学院先端科学研究部教授) [パネラー] 太田 恒平 氏 ((株)トラフィックブレイン代表取締役社長) 今釜 卓哉 氏 (九州産交バス(株)熊本のバス交通あり方検討会担当係長) 大屋 誠 氏 (ヤフー(株)データ統括本部事業開発本部データコラボレーション戦略室リーダー)

バス・タクシー・鉄道等々を活用した新交通まちづくり—最新情報満載！

MaaS日本版一開発・活用と地域活性の戦略

～国の推進施策と自治体・交通事業者・地域の連携、プラットフォームの構築・実装～

【編集・執筆】吉田 樹 / 福島大学経済経営学類准教授、国土交通省「都市と地方の新たなモビリティサービス懇談会」委員

【執筆】城福 健陽 / 国土交通省総合政策局公共交通政策部長（現・海事局次長） 藤垣 洋平 / 小田急電鉄株式会社経営戦略部モビリティ戦略プロジェクトチーム（現・次世代モビリティチーム）

阿部 政貴 / 西日本鉄道株式会社自動車事業本部計画部計画課長（現・経営企画部課長） 牧村 和彦 / (一財)計量計画研究所理事兼研究本部企画戦略部長

●定価：5,445円(税・送料込/本体4,950円)
●研修会参加者特価：4,950円(税・送料込)
●体裁：A4版/222頁 ●発行：2019年10月4日

MaaS (Mobility as a Service)
移動サービスの連携・結合

【本書を推薦します】 中村 文彦 / 横浜国立大学副学長 森本 章倫 / 早稲田大学理工学術院社会環境工学科教授 清水 弘子 / NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク理事長

第1章【基調報告】地域公共交通イノベーション推進施策

～地域公共交通と日本型MaaSの展開～

国土交通省 城福 健陽

地域公共交通のフォローアップ/地域公共交通活性化再生法の基本スキームと進行状況/地域交通のイノベーションへの取組み/新たなモビリティサービスとMaaS
＜参考資料＞1. 「地域交通フォローアップ・イノベーション検討会」提言概要
2. 「都市と地方の新たなモビリティサービス懇談会」中間取りまとめ概要
3. 新モビリティサービス推進事業「MaaS元年！先行モデル事業」19事業

第2節 MaaSが目指す世界観と交通計画への応用可能性

小田急電鉄株式会社 藤垣 洋平

MaaSの実践例—フィンランドのWhimの事例紹介—/多様なMaaSの捉え方と共通点—目標とする世界観/MaaSの発想を活用した地域公共交通計画の新展開/郊外向けMetro-MaaSの可能性—東京大学の調査から

第3節 西日本鉄道のMaaS戦略

西日本鉄道株式会社 阿部 政貴

～マルチモーダル検索サービス(my route)の実用性検証とこれからの方向性～
バス事業の課題とICT・AIの活用/ダイヤ分析・可視化プラットフォームの構築/トヨタ自動車様との連携—「my route」による実用性検証—/民間事業者から見たMaaS実現への課題/バス会社はMaaSにどう関わるか

第4節 MaaSと交通まちづくり～モビリティ革命と新都市計画～

(一財)計量計画研究所 牧村 和彦

モビリティ革命を牽引するMaaS/MaaSが都市に与えるインパクト/MaaSと新都市計画～街路空間の再デザイン～/おわりに

第3章【パネル討論】日本型MaaSの構築と運用

～プラットフォーム開発主体と交通事業者・行政・地域の参画・連携

第2章【報告】MaaS日本版の構築・実装・展開と交通まちづくり、西鉄のMaaS戦略

第1節 MaaSの構築から交通まちづくりへの展開

～プレイヤーの連携と公共交通マーケティングが鍵を握る～

福島大学 吉田 樹

MaaSの一般的な成長過程/求められる公共交通マーケティングの7つの視点/「収益事業」とされてきた日本のバス事業の実態/「公共交通軸」の形成とブランディング/バス交通のブランディング/公共交通網の形成とMaaSのインパクト/自動車の運転可否と活動機会の関係性/超高齢社会のMaaSとタクシーへの期待/モビリティと「おでかけ」「おでかけパッケージ」

福祉と交通が連携した外出支援サービスとまちづくり—

超高齢社会の移動手段の確保・開発戦略

～ウルトラ高齢・労働人口減少時代のバス・タクシー活用と市民参加の方策～

【執筆】溝端 光雄 / 自由学園最高学部講師、元東京都老人総合研究所室長 三星 昭宏 / 近畿大学名誉教授、関西福祉科学大学客員教授
吉田 樹 / 福島大学経済経営学類准教授 鈴木 文彦 / 交通ジャーナリスト

本書を推薦します

中村 文彦 横浜国立大学副学長 / 久保田 尚 埼玉大学大学院理工学研究科教授 / 鬼塚 正徳 特定非営利活動法人 せたがや移動ケア事務局長

●定価：5,445円(税・送料込/本体4,950円)
●研修会参加者特価：4,900円(税・送料込)
●体裁：A4版/198頁 ●発行：2018年7月25日

【第1章】ウルトラ高齢時代の交通環境論

自由学園 溝端 光雄

ウルトラ高齢化と社会活性/歩行支援と移動手段/運転支援と移動手段/活老と近未来の地域づくり

【第2章】超高齢社会に求められる地域公共交通の戦略と戦術

～路線バスから「小さな交通」までのネットワーク化～

福島大学 吉田 樹

地方圏で懸念される交流機会の減少/地域交通政策のベンチマーク「交通政策基本法」/公共交通網の軸としての「居住」/「拠点」を明確にしたネットワークの構築/誰が暮らしの足を支えるか/拡がる「ニッチ(隙間)」…「小さな交通」への期待/暮らしの足を支える起点/地域住民による「暮らしの足」の確保/「暮らしの足」としてのタクシーの選択性向上策と「運賃」/「暮らしの足」確保は「総力戦」

【第3章】自家用有償運送、互助運送の活用と福祉・運輸部門との連携

近畿大学 三星 昭宏

福祉有償運送(福祉移送・自家用有償運送)サービス/地域公共交通をとりまく情勢/障害者の身体条件と交通手段/改正道路運送法(2006年施行)と自家用有償運送/枚方市の福祉移送サービスの事例と今後の課題/国土交通省「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」中間とりまとめ

【第4章】地域交通の生き残りをかけた「貨客混載」戦略とその先

～社会インフラとしてのバス・タクシーの限界と可能性～

交通ジャーナリスト 鈴木 文彦

なぜ、客貨混載なのか?/公共交通は社会のインフラ/バス・タクシー事業におけるドライバー不足と高齢化の影響/複数モードのコラボレーションのこれまで/期待が高まる「貨客混載(客貨混載)」の仕組みと現状/「客貨混載」の効果・可能性と貨物車に人を乗せる新たな発想/今後への展望

【第5章【資料(抜粋)】国土交通省・厚生労働省の政策情報

～高齢者の移動手段確保のための交通・福祉制度の解説～

【研修会の参加要領】

日時：2020年3月30日(月) 10:30～16:35

会場：厚生会館・会議室 東京都千代田区平河町1丁目5-9 (案内図は申込後送付)

■申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい(FAX・郵送・メール等)。

*参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は、代理の方の出席をお願い致します。

■参加費(1名分)

	当日参加	2名以上参加
行政・議員	25,000円	24,000円
一般	35,000円	33,500円

■支払方法

請求後の振込(銀行振込・郵便振替・現金書留)、当日払い

みずほ銀行麹町支店 普通1159880

三井住友銀行麹町支店 普通7411658

三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767

郵便振替:00110-8-81660 口座名:地域科学研究会

お問い合わせ：03-3234-1231



東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993
URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書 2020年 月 日】 希望欄に印を入れて下さい FAX: 03(3234)4993 MAIL: machi@chiikikagaku-k.co.jp

■研修会の参加 『公共交通無料化実験の成功要因と評価』 : 当日参加 ※メディア参加はありません

■出版物の購入 『MaaS日本版一開発・活用と地域活性』 __ 冊 『超高齢社会の移動手段の確保・開発戦略』 __ 冊

勤務先 _____ 所在地 〒 _____ 連絡担当者 _____

TEL _____ FAX _____ E-mail _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____

※ご記入いただいた個人情報は当会の活動(セミナー・出版物等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。 (通信欄) ○をつけてください

・支払方法 (銀行振込・郵便振替・当日払い・現金書留)
・必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)
(請求書宛名等)